

選手・監督注意事項

- 1 本大会は2022年(公財)日本陸上競技連盟が定める競技規則及び本大会選手・監督注意事項に基づいて競技を行う。
- 2 アスリートビブスについては以下のとおりとする。
 - (1)小学生 : アスリートビブスの必要はない。ただし、招集所で受け取った腰ナンバーカードを右腰につけて競技する。なお、腰ナンバーカードは競技終了後、担当係に返却する。
 - (2)中学生・高校・一般 : 中体連、高体連、陸協で使用しているアスリートビブスを使用する。また、招集所で受け取った腰ナンバーカードを右腰につけて競技する。なお、腰ナンバーカードは競技終了後、担当係に返却する。
- 3 招集所は雨天走路北側に設ける。ただし、フィールド競技は現地集合(15分前)とする。
- 4 ウォーミングアップについて
 - (1)外部との接触を避けるためウォーミングアップは競技場内で行う。競技をしていないトラックやフィールド芝生および走路外を利用する。
- 5 本競技場で使用できるスパイクのピンの長さは、平行ピンで 9mm以内 とする。
- 6 競技は以下のとおりとする。
 - (1)トラックレースはすべてタイムレースとし、決勝は行なわない。
 - (2)走幅跳、砲丸投については3回の試技とし、トップ8は行わない。
- 7 スタートについて
 - (1) 100mにおける小学生のスタートはスタンディングスタートも認める。
 - (2) 800mのスタートはセパレートレーンでのスタートとする。
- 8 リレー競技については、オーダー用紙の提出は必要としない。選手変更は、チーム内であれば、誰でも認める。
- 9 競技結果(記録)については雨天走路に掲示する。3密を避けるため、確認した後はすみやかに移動すること。
- 10 その他
 - (1)競技中以外はマスクの着用に心がける。
 - (2)競技場内(トイレを含む)に消毒液や手洗い用石けんが用意してあります。競技前・後はもちろん、こまめな消毒に心がける。
 - (3)競技会了後、発熱や喉の痛み、嗅覚の異常等見られた場合には顧問の先生や監督・指導者に申し出る。(1週間の観察)